

## 国語研究委員会

### 1 研究テーマ

研究委員会研究テーマ

子どもたちが書くことに意欲的に取り組み、自己表現力を高めていくための指導はどうあったらよいか。

### 2 研究課題

本年度、国語研究委員会では、本郡教育会中心講師の益地憲一先生（信州大学教育学部教授）のご指導を直接賜りながら、郡研究テーマ「確かな学力を育むための自己表現力の指導はどうあったらよいか」を受け、とりわけ文字言語に焦点を当て、国語科研究委員会のテーマを「子どもたちが書くことに意欲的に取り組み、自己表現力を高めていくための指導はどうあったらよいか」と設定し初年度の研究をスタートした。「自己表現力の育成」という面では、昨年度までの国語委員会の研究テーマ「コミュニケーションの力を高め、表現活動に意欲的に取り組む授業のありかたはどうあったらよいか」ともつながりがあり継続的側面を持つテーマであると認識している。そこで昨年度までの成果をふまえつつより焦点的な研究を進めていきたいと考え本テーマを設定した。

まず今年度も引き続き大切にしていきたい「自己表現力の育成」に関わる昨年度までの成果を以下に整理しておく。

児童生徒の必要感に支えられた実の場を設けるよう支援を進めていきたい。

表現の向かう相手への意識を高めることができるように支援を進めていきたい。

児童生徒が表現したい内容をより明確に持つことができるように支援を進めていきたい。

具体的な言語活動に即した知識技能を高め表現方法に自信が持てるよう支援を進めていきたい。

こうした「自己表現力の育成」の要諦をふまえ、今年度新たに益地先生のご講演にいただいたご指導「今日の授業をどうするか」（子ども教師が共に育つ場：授業改善）の9条件を日頃から心にとめて実践していこうと共通理解し合い、研究小委員会を重ねてきた。

全員参加と共存性（一人ひとりに注目）	学習への集中	学習指導の充実	
学習の累積	授業の主導性と柔軟性	学習の独自性・個別性	構造化
学習指導の自己研修	児童生徒にとって価値ある学習材		

益地憲一先生ご講演より

これまで小委員会で検討されてきた研究内容の概要は以下の通りである。

高山小学校の児童の実態より「書く」活動、特に作文に対する意識はどのような状況か。

「書く」活動の系統性を明確にして実践指導していく。

互いの良さを認め合い励まし合うような「学びの場」の設定について。

「書きたい」と思える展開の工夫について。

児童が表現したいこと（一番伝えたいこと）をどのように明確にして指導していくか。

書く力を高めるためのスキル学習について。

### 3 指導の実際

研究授業実施期日	11月7日(水)
授業会場	高山小学校
単元名	「リンゴのことがわかったよ」
学年・学級及び授業者	三年一組担任 前田博展 教諭

< 確かな学力に寄せて >

(1) 児童生徒に主体的な学習をいかに保障できるかは、確かな学力を指向する上でその基底になっている重要点と考える。国語科では「確かな自己表現力の育成」(昨年度までの成果)に必要な ~ を授業改善の基本に据えて実践してきた。



(2) 児童生徒にとって必要感のある単元展開をいかに工夫できうるかを重要と考え、「総合的な学習の時間」との関連指導を位置付け、単元展開の修正を重ねる中で、より生活に近い自己表現の状況を設定することができた。

(3) 確かな言語能力(「書く力」)を育ていこうと実践された本時は、児童の実体験に裏付けられた写真や感想、説明的文章等、過去の豊富な体験情報が教室に見やすく掲示され、児童が何をどのように書くか思いを巡らす上で十分に配慮された教室環境になっていた。

(4) 児童が書き重ねてきた材料となる文章については色別の付箋を工夫して用意し、一目でこれまでの学習を振り返ることができる状況になっていた。

### 4 この事例から明らかになったこと

実証授業では「藤沢さんにお礼の手紙を書こう」と意欲的に「書く活動」に向かう児童の姿から多くのことを学んだ。

「総合的な学習の時間」と関連させ「書く」必要感のある場が設定され、教室に掲示された色々なリンゴ農家との交流の足跡を振り返りながら、生き生きと「ぺったんメモ」を書き重ねていく児童の姿に、授業作りのアイデアを学び合った。

手紙作文の準備段階として、付箋に一人ひとり感謝の内容を具体的に書く児童の姿から、作文表現における言語能力の同一化と個別化(個性化)の様相が明らかになってきた。

### 5 今後の課題

子どもと教師が共に育つような授業改善を目指していく学習過程で、児童生徒の自己表現力を育て、確かな学力を育ていく国語科学習指導について今年度の成果をふまえて継続的な研究を進めたい。

国語科言語指導における同一化と個別化の様相をより明確にし、個別化における教師の指導を一層工夫していきたい。